

## ●的・●化・●性に関する問題 問題1

結婚式の仲人なまうじを頼たのまれたときのことです。新郎しんろう新婦しんよを紹介しょうかいする段になりました。

「①」には「○△君は中高生時代から非常に優秀ゆうしゅうで、○□大学に合格。現在も社内しゃないでの成績が抜群ばくぐんで、社内の人望は厚く…」などと書いて、褒めちぎるものです。

(池上彰『「話す」「書く」「聞く」能力が仕事を変える—「伝える力』  
〈PHPビジネス新書〉)より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア 一般的 イ 例外的 ウ 個人的 エ 全体的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題2

「人と違つてゐるのは劣つてゐることじやないんだ。それそれがそれそれでいいって、もつと「①」が認められる社会にしていかなきやいけないって思つて、時間をかけて少しづつ少しづつ時代になるつて僕は信じてるよ」

(青山美穂)『鎌倉ひちやま寮研究所』〈星雲社〉より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次の中から選び、『品号で答へなさい。

ア 同一性 イ 創造性 ウ 多様性 ハ 多面性

## ●的・●化・●性に関する問題 問題3

ブータンに行つたとき、「先進国は失敗してしまったから、私たちは一の舞を踏まないよつにしている」という話を聞きました。アジアの最貧国ひとつとせられている国ですが、「①」な豊かさより「②」な豊かさを大事にしようとして、「国民総幸福量(GNH)」を国の繁栄の物差しにすえたのです。

「①」「②」に入るところとして、最適なものを次の中から選び、記号で  
答えなさい。

- |   |       |       |   |       |       |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ア | ①…主観的 | ②…客観的 | イ | ①…近代的 | ②…古典的 |
| ウ | ①…理性的 | ②…感情的 | エ | ①…物質的 | ②…精神的 |

（汐見稔幸『人生を豊かにする学び方』  
〈ちくまプリマーニュ書〉）より、一部引用

## ●的・●化・●性に関する問題 問題4

キリスト教世界では、「神」がきわめて大きな存在であり、人間の行動を見守り、それを厳しく律している。神への背信行為は「罪」となり、人間は相応の「罰」を受けることになる。「①」に日本人の多くは無宗教であり、正月には神社に初詣に出かけ、結婚式は教会で挙げ、死んだら寺にあるお墓に入ることについて、あまり疑問に感じることはない。

（中西雅之『なぜあの人とは話が通じないのか？』  
『光文社新書』）より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 系統的 イ 全体的 ウ 常識的 エ 対照的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題5

こうした生物的な時間は、個人的なしきりとは異なっている。生物的な時間はある程度規則的であるが、個人的な時間は、「①」であることが特徴的である。退屈に感じる時間、あつという間に過ぎる時間、止まつたように感ずる時間、そして、仕事や学習などの時間のリズムは、まさに個人的であり、それぞれが時間のしきりを持つている。

（柏木博『「しきり」の文化論』〈講談社現代新書〉より、一部引用）

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア 抽象的 イ 具体的 ウ 主観的 エ 客観的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題6

インターネット上には多くのニュースがあふれていますよね。でも、ヘッジライン

ニュースを見るだけでは優先順位は分からぬのでしょうか? 「人によつて大事なニュースは違うのだから、優先順位なんかなくてもいいんじゃないか」という意見もあるかもしれません。これだけ価値が「①」した時代なので、ある人にとっては重要なニュースもある人にはまったく関心のないものになつてしまつのも分かります。

※ヘッジライン…見出し

(名古谷隆彦『質問する、問い合わせする、主体的に学ぶといふこと』(岩波ジュニア新書)より、一部引用)

「①」に入ることばとして、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 専門化 イ 一般化 ウ 多様化 エ 具体化 オ 表面化

## ●的・●化・●性に関する問題 問題7

他方、仕事に不満でも、消費を通じて自分のアイデンティティを確認するという方法もある。自分はどんな車に乗っていて、どこのブランドの服を着ていて、拘り抜いたこんな家に住んでいる。これが、自分という人間だと、と。

しかし、経済状態の悪化は、その両方の可能性を圧迫する。アイデンティティ・クラウシス自体は、近代以降の「①」な現象だが、それが過剰に煽られる時代もある。

※アイデンティティ：自己同一性。自分が自分であるといふこと。

（平野啓一郎『私とは何か「個人」から「法人」へ』  
〈講談社現代新書〉）より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア 普遍的 イ 典型的 ウ 反動的 エ 適合的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題8

学校の勉強は、実生活で役に立つか、それとも立たないか、そう問われると、私たちは思わず、どちらかが正しいんじゃないかと思ってしまいはしないでしょうか？

でも、この問**は**じはどちらかが絶対に正しくて、どちらかが絶対に間違つて**は**じるというよ**う**な問**は**いではあります。実生活で、役に立つものもあれば、あんまり立たないものもある。ところ**は**い、それは人によって違つかり、まさに「①」できない問題なのです。いわれてみれば(いわれなくとも)あたりまえのことなのです。

(古野一徳『勉強するのは何のため?』)

〈日本評論社〉より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア 一般化 イ 個別化 ウ 抽象化 エ 特殊化

## ●的・●化・●性に関する問題 問題9

ロボットはテーブルの下や椅子のあいだをくぐり抜けながら、床の塵やホコリをかき集め、それを吸い込んでいく。「ゴツンゴツン」と部屋の壁や椅子などにぶつかるたびに、その進路方向を小刻みに変える。～中略～ あるときは壁つたに小さく「ゴツンゴツン」と当たりながら、その隅にあるホコリを丁寧にかき集めていく。

この気ままなお掃除ぶりは、はたして「①」なものなのか?同じところを入れたりと重複も多そつだ。

（岡田美智男『弱いロボットの思考』  
〈講談社現代新書〉）より、一部引用

「①」に入ることとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア 一般的 イ 科学的 ウ 効率的 エ 計画的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題10

そもそも、恥をかいて覚えたことは絶対忘れないものだ。みんなの前で間違えたとか、ずつと間違つたまま使つてたとか、恥とは、体に空いた穴のようなもので、そこを埋めても形が残るのだ。だから忘れない。古傷と共に、そのときのことを覚えているのと同じなのだ。そのことを「①」に知つてるので、僕は「②」に恥をかくことにしている。

（小川仁志『小川仁志の哲学思考実験室』  
〈教育評論社〉）より、一部引用

「①」「②」に入ることとして、最適なものを次の中から選び、記号で答えてなさい。

- |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 才   | ア   | ア   | ア   | ア   |
| ①   | ①   | ①   | ①   | ①   |
| 体験的 | 感情的 | 感情的 | 感情的 | 感情的 |
| ②   | ②   | ②   | ②   | ②   |
| 積極的 | 功利的 | 功利的 | 功利的 | 功利的 |
| 力   | イ   | イ   | イ   | イ   |
| ①   | ①   | ①   | ①   | ①   |
| 体験的 | 体験的 | 体験的 | 体験的 | 体験的 |
| ②   | ②   | ②   | ②   | ②   |
| 功利的 | 習慣的 | 習慣的 | 習慣的 | 習慣的 |

## ●的・●化・●性に関する問題 問題11

聴導犬ちようしゅうけんがすごいと思うのは、人から指示されなくとも、自ら考かんえて、「①」に動くという点です。介助犬かいじょけんも盲導犬もうどうけんも、犬は人の指示に従つて動くように訓練されていますが、聴覚に障害のある人が「いま音が鳴つているから教えて」と犬に指示することはできません。

「①」に入ることばとして、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 自律的 イ 自發的 ウ 自動的 エ 自制的

（森達也『集団に流されず個人として生きるには』  
〈ちくともブリマー新書〉）より、一部改用

## ●的・●化・●性に関する問題 問題12

ヨーロッパでも似たようなことがあり、かつてヨーロッパ人は文章を書くとすればほとんどの言語によつたはずで、英語、ドイツ語等々で文章を書くようになるのはそんなに古い話ではない。そして、英語、ドイツ語等々の文体が確立されると、現在では知識人でもラテン語でもうすらと文章が書ける人はそう多くないのであるまいか。このように考えれば、漢詩や漢文を書く人が少なくなつてゐるのは別に異とするには足りず、「①」、普遍的な現象の一端にすぎないのである。

近年これも「①」な現象として、漢字文化の見なおしがよつたことがしきりにいわれるようであるが、そうしたこととは関係なく、私たちはみずからの言語生活、更には精神構造のルーツとして、漢字文化との永く深いかかわりの歴史を時折りふり返つてみる必要があると思つ。

※1 異とするには足りず…よくある」とい (村上哲見『漢詩と日本人』〈講談社選書メチエ〉)  
※2 普遍的…すべてのものにあてはまるやむ より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

- ア 具体的
- イ 局地的
- ウ 模範的
- エ 世界的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題13

祖母は自分に死期が近いことを知っていたのか。それこそ年を取ると「①」に死が近くなつてくるので、ふだんからそのことばかり考えていたのか。

（中島京子『樽とタタン』〈新潮社〉）より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア 直感的 イ 具体的 ウ 必然的 エ 対照的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題14

言葉遣いが丁寧になればなるほど、心から感謝しているところが伝わるはずだ。

ただ口先で「①」に感謝の言葉をいつただけでは、儀礼的<sup>ぎれい</sup>な意味しか伝わらない。

（山崎武也『氣くばりがうまい人のものの言い方だから、心に残る。また会いたくなる。』（三笠書房））より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア 自動的 イ 本質的 ウ 対比的 エ 主体的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題15

時間をかけてご飯を炊く手間をかけるよりも、より便利な外食を利用したり、お惣菜を買つたりすることが増えています。

こうした変化により、僕たちはいま「昔よりも」「①」に食の選択肢が広がった世界で食生活を営んでいます。しかし、この豊かな食生活は国内で作られた食料だけでなく、輸入された食料や飼料によって支えられている部分がかなり大きいのです。

(白石優生『タガヤセー・日本「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます』)より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 画期的 イ 圧倒的 ウ 実質的 エ 計画的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題16

やはり人類は昔から、こうじう問題に直面してきたのです。快樂はあるけれどもよろこびがない、物はあるけれども充足しないという問題に。

ところが、昔の社会では、こうじう状況に陥る人は少数でした。たとえば、権力の頂点に立つて人々から搾取(さくしゅ)している貴族や王族などの、ひとにぎりの人々だけだったでしょう。すなわち、文明が進歩した結果、昔はひとにぎりの貴族とか王様だけが陥つていた状況が、「①」したと考えられるのです。

(森岡正博『生命学をひらく自分と向きあう「このち」の思想』  
〈トライバースビューノ〉より、一部改用)

「①」に入ることばとして、最適なものを次の申から選び、記号で答えなさい。

ア 大衆化 イ 絶対化 ウ 孤立化 エ 具体化 オ 縮小化

## ●的・●化・●性に関する問題 問題17

贊<sup>ぜいたく</sup>沢<sup>を</sup>を要求<sup>する</sup>のは、自分の体に備わった「①」な欲望<sup>の</sup>ではあります。

むしろ、我々が欲望<sup>だ</sup>と思つてゐるもののはとんどは、他者との関係に根ざしてゐる<sup>です</sup>。どんな美味<sup>いいみ</sup>な料理<sup>でも</sup>、無人島で一人食べるなら味氣<sup>みけい</sup>ないものになるでしょ<sup>う</sup>う。

贊沢<sup>を</sup>求める我々の欲望<sup>自体</sup>が、本来「②」なものなの<sup>です</sup>。

（菅野覚明『日本の元徳』〈ベースボール・マガジン社〉）  
より、一部引用

「①」「②」に入る<sup>こと</sup>ばとして、最適な<sup>もの</sup>を次の中から選び、記号で  
答えなさい。

- |   |      |      |      |
|---|------|------|------|
| ア | ①肉体的 | イ    | ①個人的 |
| ウ | ②文明的 | エ    | ②本質的 |
| オ | ①本能的 | ②社会的 | ①個性的 |
|   | ②社会的 |      | ②共同的 |

## ●的・●化・●性に関する問題 問題18

ある事実があつたとする。その事実が知識のままでは伝わらず、長いあいだ、人々のあいだを、形を変えながらさまよつてじゅうたに、ある時期にいたつて、たとえば「犬も歩けば棒に当たる」というよくなひとつの表現になつてあらわれてくる。

このときには、知識ではなくなつてじるから、もはや流れない。十年たつても、一十年たつても、ある程度の意味をもつて定着する。

それに対し、「犬が棒で打たれてケガをした」という事実があつて、それを新聞が記事に書いたとしても、三日もたてば忘れられてしまつだらう。「犬も歩けば棒に当たる」ということわざの形になつたときに、はじめて「①」をもつてくるのである。

（外山滋比古『「考へる頭」のつくり方』〈PHP文庫〉）  
より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、品号で答えなさい。

- ア 具体性
- イ 一貫性
- ウ 普遍性
- エ 客觀性

## ●的・●化・●性に関する問題 問題19

観光化の進む時代にあつては、地域の人びとだけでなく、地域を商品化しようとする旅行会社や地域外のメディアなども、地域に「意味」を与えることがあります。場合によつては、それが地域の人びとが求める暮らしとは違つものになつていく可能性もあるので、注意が必要です。

「①」な話があります。海外の事例ですが、ネパール南部のイングド国境近くに、ブッダの生誕地とされるルンビニという地域があります。現在では、仏教の四大聖地の一つとして観光開発されました。開発計画をつくったのは、日本人建築家・丹下健三たんげけんぞうです。寺院区域には世界中の仏教寺院が建立され、あたかも仏教テーマパークの様相を呈して、スリランカやタイなどから多数の観光客が訪れているそつです。

(除本理史・佐無田光『きみのまちに未来はあるか?「根っこ」から地域をつくる』(岩波ジグニニア新書)より、一部引用)

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

- ア 経済的
- イ 宗教的
- ウ 象徴的
- エ 抽象的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題20

こうした海流分布による移動は、当然ながら流される海流の方向に左右される。その種の生息地を通過する海流によって、分散の方向性が決定されるのだ。ゾウガメなど、ガラパゴス諸島の有名な生物たちも、フンボルト海流に乗って南米大陸から流されてきた種の子孫たちだ。日本でも、南方から黒潮に乗ってやってきた昆虫種がいくつも知られている。

一つ目は空を飛んでいく方法だ。この場合も、自力だけで海の上を飛び、長距離移動をする種は少ない。鳥や昆虫の羽は、はばたく「①」な道具であるだけでなく、気流に乗って「②」に移動する際の助けとなることが多い。

(高橋敬一『昆虫にとって「ハビ」とは何か?』  
『朝日選書』)より、一部引用

「①」「②」に入る「**ハビ**」として、最適なものを次のなかから選び、記号で答えてなさい。

ア 協調的 イ 受動的 ウ 総合的 エ 個性的 オ 能動的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題21

先にも説明しましたが、植物が成長するためには、光を浴びて光合成をしなければなりません。光を浴びるためには、他の植物よりも高い位置に葉をつけなければなりません。もし、他の植物よりも低ければ、他の植物の陰で光合成をしなければならなくなります。有利に光合成をするためには、他の植物よりも少しでも高く伸びなければならぬのです。光を求める植物たちにとって、自分がどれだけ伸びたのかといつ「①」な高さは、じつは重要ではありません。光を浴びるために大切なのは、他の植物よりも、少しでも高く伸びるといつ「②」な高さです。そして、他の植物よりも少しでも上に葉を広げようとして伸びるのです。植物たちはこうして激しい競争を繰り広げています。

（稻垣栄洋『はづれ者が進化をつくる生き物をめぐる個性の秘密』  
〈ちくまプリマ―新書〉）より、一部引用

「①」「②」に入るごとにばとて、最適なものを次のなかから選び、記号で答えてなさい。

- |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| ア 無機的 | イ 利他的 | ウ 相対的 | エ 客観的 | オ 利己的 |
| 力 空想的 | キ 絶対的 |       |       |       |

## ●的・●化・●性に関する問題 問題22

生徒たちがともに学んで、理解していく。よく理解できていない子には誰かが教えてあげて、学びを「①」していく。仲間に教えることで、その人自身の知識も整理されて、理解が深まります。それが本来の学びのあり方でしょう。

（汐見穂幸『人生を豊かにする学び方』〈ちくまプリマ―新書〉）  
より、一部引用

「①」に入ることとして、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 共同化 イ 一般化 ウ 具体化 エ 同一化 オ 顕在化

## ●的・●化・●性に関する問題 問題23

探求が間違<sup>ちが</sup>いなく人生を豊かにしてくれるものであるとして、次に考えなくてはいけないのはその「①」な方法です。人が何かを探求しようとするにあたって、通常多くの人がイメージするのは、「たくさんの文献、オンライン情報を含めたテキストを読む」ということでしょう。

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア 客観的

イ 個性的

ウ 本格的

エ 形式的

オ 具体的

(齊藤孝『知性の磨き方』〈SB新書〉)より、一部引用

## ●的・●化・●性に関する問題 問題24

エ ウ イ ア

① 物理的  
② 心理的  
① 具体的  
② 抽象的  
① 形式的  
② 実体的  
① 精神的  
② 身体的

「①」「②」に入る記号として、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

※1 王子製紙は明治時代からつづく製紙会社の老舗。当時の製紙工場から排出されていた煙には独特のにおいがあり、さほど刺激的ではないのだが、鼻の奥まで届き、「①」「ダメージよりも「②」「ダメージの方が大きく、はつきり言えばおなじにそっくりなにおいだつた。

※1 王子製紙……製紙会社の名前

※2 老舗……昔から続いている店舗や会社

(道尾秀介「煙の謎」)より、一部引用

## ●的・●化・●性に関する問題 問題25

さきほど説明したように、状況や相手との関係性に応じて「わたし」が変化するという見方も、まさに「**分人**」的な人間のどうえ方です。「①」には、「わたし」のなかに複数の人間関係にねじした「わたし」がいる。だれと出会うか、どんな場所に身をおくかによって、別の「わたし」が引き出される。

ここで重要なのは、他者によって引き出されるという点です。それは「わたし」が「②」に異なる役を演じ分けているのは違います。他者との「つながり」を原点にして「わたし」をとらえる見方です。

（松村圭一郎『はみだしの人類学 ともに生きる方法』（H.K.出版）より、一部引用）

「①」「②」に入ることばとして、最適なものを次の中から選び、記号で答えてなさい。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| ア 個性的 | イ 意図的 | ウ 抽象的 | エ 肉体的 |
| オ 普遍的 | カ 潜在的 |       |       |

## ●的・●化・●性に関する問題 問題26

客観という言葉が含む厳密さに人は安心します。～中略～しかし、この心の落ちきは曲者です。というのは人間は楽なことが好きだからです。いつかの時点から安堵が高じて「それに寄りかかりさえすれば大丈夫だ」と思い始め、「厳密な事実」を言い訳に使うようになるからです。物事を検証するのではなく、他者を責めるための取り回しのよい道具として扱い始めます。「だから私は正しく、おまえは悪いのだ」といったために客観性を用いるようになります。

つまり客観的事実から「①」が生じてしまうわけです。事実がどうであるかよりも、自分が「これが現実だ、これが正しい」と思いたがつていてる事実のほうが大事になつてくる。客観性を物事への問い合わせではなく、答えにしたとき、自分が騙されてしまつという事実について見えなくなつてしまふのです。

（尹雄大『やわらかな言葉と体のレッスン』（春秋社）より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

- ア 一般性
- イ 厳密性
- ウ 消極性
- エ 独善性
- オ 楽観性

## ●的・●化・●性に関する問題 問題27

せいいわい哲學を勉強している私には、かれが何を言おうとしているのかはわかります。しかし、いま、じつさうに私たちが行つてゐる日々の行動や生活と、そのように結びつづかをはつきりと知ることができるほど、じゅうぶんにはわかりません。じつは、この文章そのものが、そのような形で説明されていないのです。「自我」とか「反省」とか、そのほか多くの「①」なことばが使われてゐるだけではなくて、このようなことばの意味が、この文だけではあいまいだからです。

(沢田允茂『考え方の論理』〈講談社学術文庫〉)より、一部引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答えなさい。

- ア 抽象的 ちゅうしょく イ 意欲的 ウ 気分的 エ 比喩的 ひゆ オ 客観的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題28

人間の「ミニユーニケーションにおいて大事なのは、時を共有して同調することであり、信頼はそこにしが生まれません。母と子が、何の疑いもなく信頼関係を結べるのは、もともと「①」していたからです。胎児のときは、お母さんの動きを直に感じとっています。

（山極寿一『スマホを捨てたい子どもたち』野生に学ぶ「未知の時代」の生き方』（ポプラ新書））より、一部改用

「①」に入ることばとして、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 均一化 イ 一本化 ウ 一体化 エ 統合化

## ●的・●化・●性に関する問題 問題29

犬が飼い主の命令に応え、褒めると尻尾を振って喜ぶ様子を見て、彼らに精神作用、すなわち「心がない」と考へることは難しいです。研究によると、常用馬は、困った状態では、人間に助けを求めるそうです。このように、ヒト以外の動物にも「心が備わること」を、私たちは「①」に知っています。

（森山徹『モノに心はあるのか』〈新潮選書〉）より、一部改・引用

「①」に入ることばとして、最適なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 必然的 イ 経験的 ウ 本格的 エ 心理的

## ●的・●化・●性に関する問題 問題30

もう一つ。じぶんをむきだしにしないといつ意味では化粧や衣服もマスクと「①」に変わらない。マスクはたしかに、じぶんといつものを護るために、じぶんとは異なる〈他〉との接触を遮る皮膜ではある。

「①」に入るにじばとして、最適なものを次のなかから選び、記号で答へなさい。

ア 流動的 イ 合理的 ウ 安定的 エ 本質的

（内田樹編『ポスト「ロナ期を生きる」のまみたちへ』  
〈晶文社〉）より、一部改

本pdfデータは

「**○○的、○○性、○○化**  
に関する問題がよくわかる  
**過去問解説カード**

の**表面**の問題のみを紹介したサンプルになります。

**裏面**に解答と詳しい解説があります。

商品は

下記をクリック



**『自宅でできる受験対策ショップ  
ワカルー！』**

からご購入いただけます。